

〈平成17年（2005年）基準〉

I 調査結果の概要

1 概況

平成22年の農産物価格指数（平成17年を100とする。以下同じ。）の総合は101.9となり、前年に比べて6.5%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は109.9となり、前年に比べて1.3%低下した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は92.7となり、前年に比べて7.8%上昇した。

図1 農業物価指数の推移(平成17年=100)

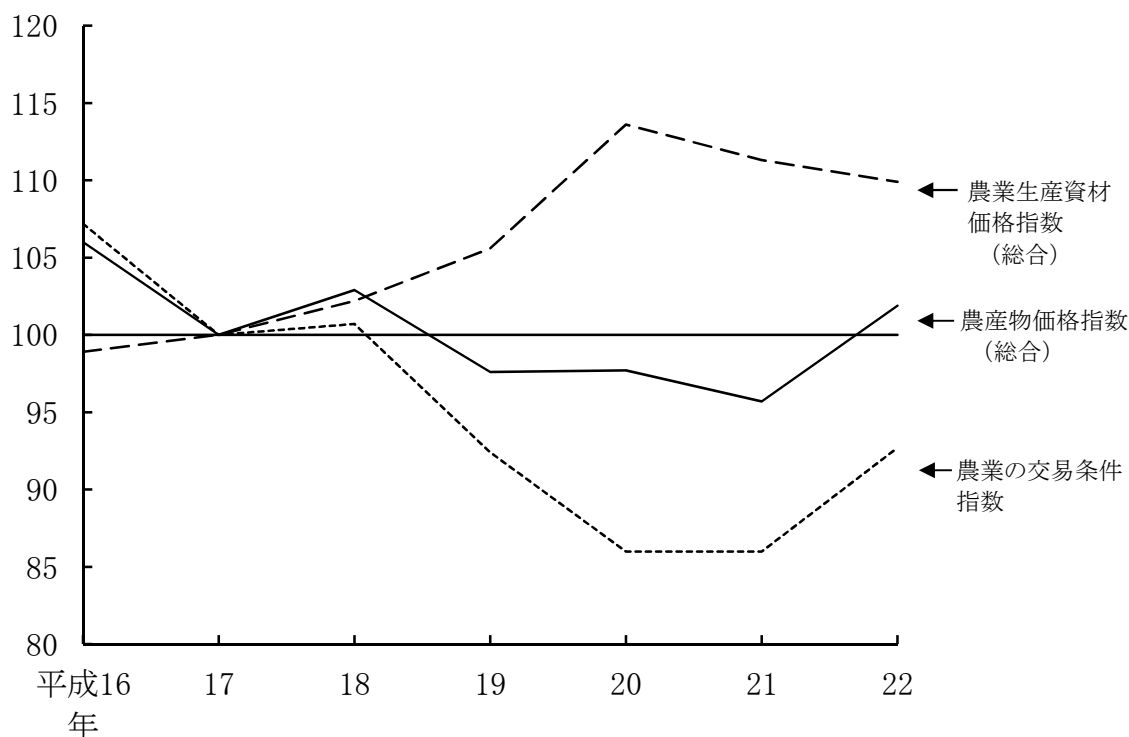
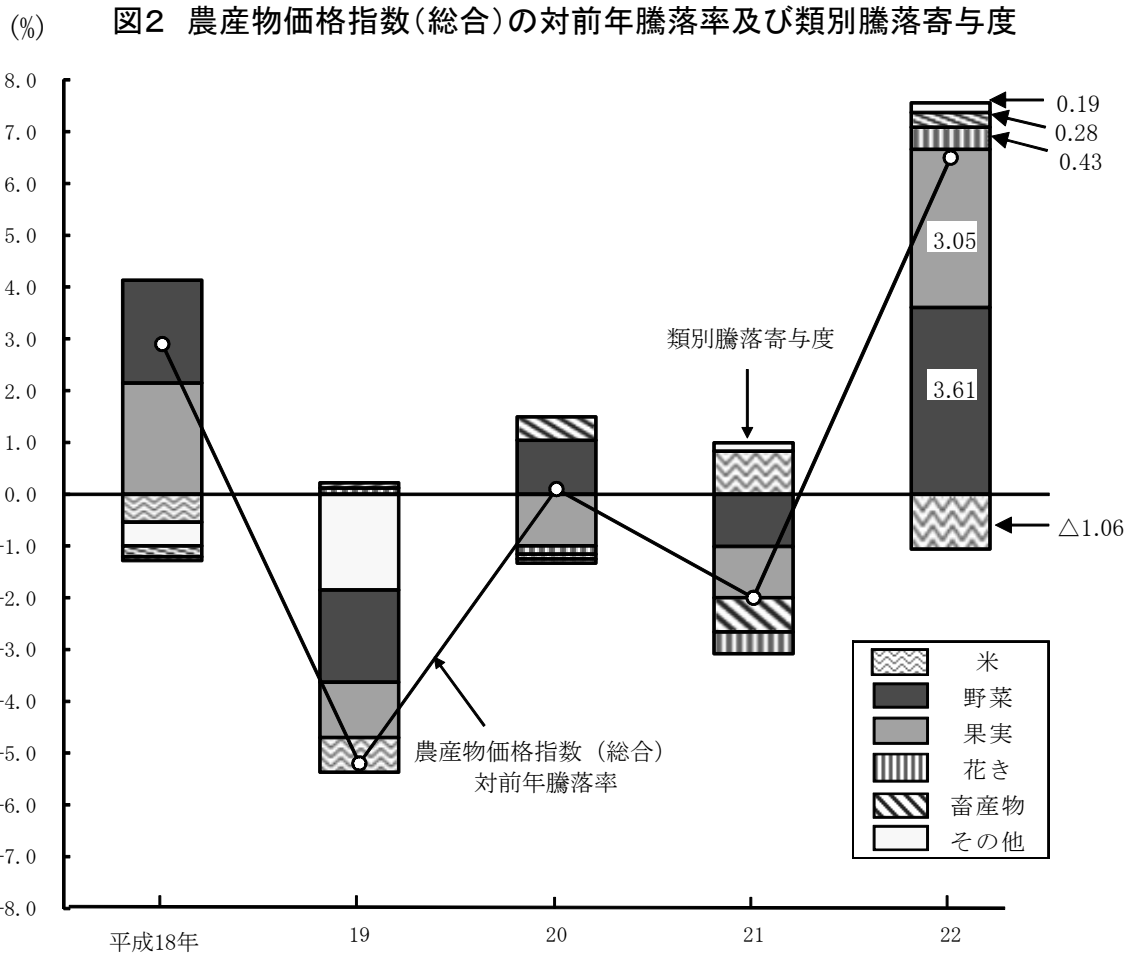


表1 農業物価指数の推移

区 分	平成17年=100							
	平成16年	17	18	19	20	21	22	
農産物価格指数(総合) ①	106.0	100.0	102.9	97.6	97.7	95.7	101.9	
農業生産資材価格指数(総合) ②	98.9	100.0	102.2	105.6	113.6	111.3	109.9	
農業の交易条件指数 ①/②×100	107.2	100.0	100.7	92.4	86.0	86.0	92.7	

2 農産物価格指数

平成22年の農産物価格指数（総合）は101.9となり、前年に比べて6.5%上昇した。これは、野菜、果実等の価格が上昇したことによる。



ア 米

米は93.9で、前年に比べて4.2%低下した。これは、米の消費量が減少し需要も減少していること等から価格が低下したことによる。

イ 野菜

野菜は115.0で、前年に比べて14.2%上昇した。これは、春の低温及び夏の記録的猛暑の影響等を受け出荷量が減少し、価格が上昇したことによる。

ウ 果実

果実は119.4で、前年に比べて30.5%上昇した。これは、22年産みかんが裏年だったことに加え、開花期の天候不順、夏の記録的猛暑の影響等を受け出荷量が減少し、価格が上昇したこと等による。

エ 花き

花きは98.5で、前年に比べて5.9%上昇した。これは、切り花が夏の記録的猛暑の影響等を受け出荷量が減少し、価格が上昇したことによる。

オ 畜産物

畜産物は99.8で、前年に比べて1.3%上昇した。これは、肉用子牛、肉豚、鶏卵等の価格が上昇したことによる。

表2 農産物価格指数の推移

農産物	ウエイト	平成17年=100							
		指数		対前年騰落率		騰落寄与度			
		平成21年	22	平成21年	22	平成21年	22	平成21年	22
				%	%	%	%		
農産物総合	10,000	95.7	101.9	△ 2.0	6.5	△ 2.05	6.48		
米	2,468	98.0	93.9	3.5	△ 4.2	0.83	△ 1.03		
麦	230	63.8	53.6	8.0	△ 16.0	0.11	△ 0.37		
雑穀	6	115.0	116.3	26.8	1.1	0.01	0.00		
豆	124	77.1	75.7	4.9	△ 1.8	0.05	△ 0.02		
いも	263	94.0	111.3	3.8	18.4	0.09	0.48		
野菜	2,414	100.7	115.0	△ 3.9	14.2	△ 1.01	3.43		
果菜	1,083	102.1	110.5	△ 1.4	8.2	△ 0.16	0.89		
葉茎菜	935	94.5	115.3	△ 5.2	22.0	△ 0.50	2.06		
根菜	263	104.6	123.3	△ 12.0	17.9	△ 0.38	0.47		
まめ科野菜	133	125.5	132.7	2.0	5.7	0.03	0.08		
果実	1,045	91.5	119.4	△ 9.2	30.5	△ 0.99	3.19		
工芸農作物	626	83.6	83.5	△ 1.9	△ 0.1	△ 0.10	△ 0.01		
花き	741	93.0	98.5	△ 5.7	5.9	△ 0.42	0.44		
畜産物	2,075	98.5	99.8	△ 3.1	1.3	△ 0.66	0.27		
鶏卵	115	89.2	99.0	△ 11.4	11.0	△ 0.14	0.13		
生乳	829	110.4	109.0	7.9	△ 1.3	0.69	△ 0.11		
肉畜	792	94.3	95.9	△ 11.3	1.7	△ 0.97	0.13		
子畜	300	82.4	87.5	△ 8.0	6.2	△ 0.22	0.19		
成畜	39	79.9	79.0	△ 6.5	△ 1.1	△ 0.02	△ 0.00		
稲わら	8	105.6	96.1	3.8	△ 9.0	0.00	△ 0.01		

注：騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する各類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ)。

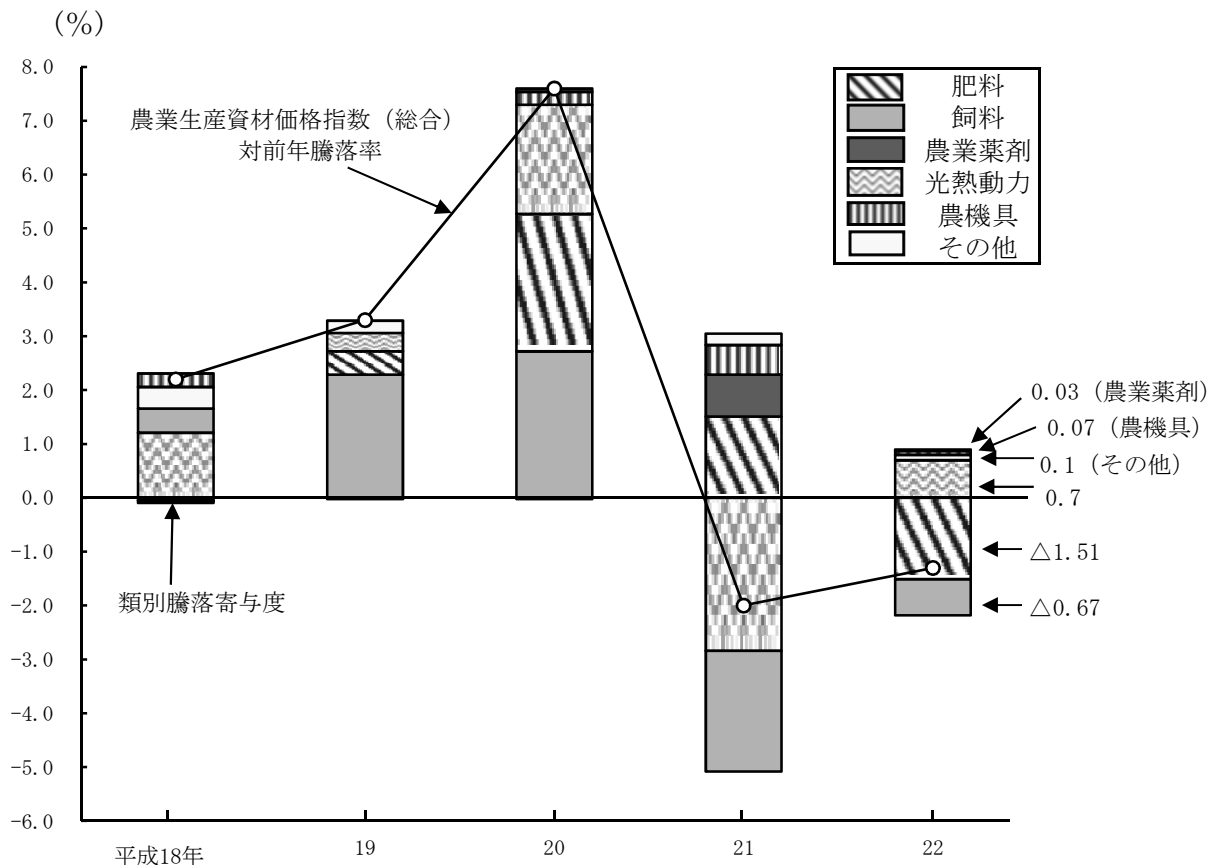
$$\text{騰落寄与度}(\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

3 農業生産資材価格指数

平成22年の農業生産資材価格指数(総合)は109.9となり、前年に比べて1.3%低下した。

これは、光熱動力等の価格が上昇したものの、肥料、飼料等の価格が低下したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



ア 肥料

肥料は132.5で、前年に比べて10.7%低下した。これは、輸入原材料価格が低下したこと等による。

イ 飼料

飼料は115.8で、前年に比べて4.1%低下した。これは、外国産穀物相場が低下したこと等による。

ウ 光熱動力

光熱動力は113.2で、前年に比べて7.8%上昇した。これは、原油価格が上昇したことによる。

表3 農業生産資材価格指数の推移

平成17年=100

農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成21年	22	平成21年	22	平成21年	22
				%	%	%	%
農業生産資材総合	10,000	111.3	109.9	△ 2.0	△ 1.3	△ 2.02	△ 1.26
種苗及び苗木	661	102.7	102.3	0.9	△ 0.4	0.05	△ 0.03
畜産用動物	428	85.6	88.9	△ 5.1	3.9	△ 0.17	0.17
肥料	1,054	148.4	132.5	12.3	△ 10.7	1.51	△ 1.13
飼料	1,512	120.7	115.8	△ 12.2	△ 4.1	△ 2.24	△ 0.61
農業薬剤	916	109.9	110.3	9.7	0.4	0.78	0.03
諸材料	477	111.1	110.6	4.3	△ 0.5	0.19	△ 0.02
光熱動力	945	105.0	113.2	△ 24.6	7.8	△ 2.84	0.74
農機具	1,841	104.5	104.9	3.4	0.4	0.55	0.07
自動車・同関係料金	547	101.1	101.6	0.3	0.5	0.01	0.03
建築資材	497	108.1	107.3	0.1	△ 0.7	0.00	△ 0.04
農用被服	38	102.0	101.8	1.0	△ 0.2	0.00	△ 0.00
賃借料及び料金	1,084	102.9	103.2	1.4	0.3	0.13	0.03